鳥取短期大学～倉吉駅～西倉吉間における夕夜間時間帯に限定した路線の試験的な運行について

**資料２**

**○鳥取短期大学～倉吉駅～西倉吉間における夕夜間時間帯に限定した路線の試験的な運行について、令和４年４月１日に向け準備を行ってきたが、新型コロナウィルス感染症拡大に伴い、大学施設の開館時間が短縮され、通常の開館時間に戻る時期も不明であることから、試験運行を見合わせた。**

（令和３年５月31日開催鳥取中部地域公共交通協議会資料抜粋）

| 現状・課題 | 事業内容 | 実施状況及び今後の主な取組み（案） |
| --- | --- | --- |
| **［利用者ニーズへの対応］**  ○目的地への移動利便性の向上  バスサービスの満足度が低い項目である「運行本数」「ダイヤ」「最終便の時間」「待合環境」「料金」「運行経路」の改善により、目的地への移動利便性を向上させる必要がある。  ○移動時間帯に応じた利便性の向上  朝の時間帯は通勤・通学利用が中心で定時性が求められ、それを過ぎると通院や買物移動の需要に移り、高齢者にはお昼前後に帰宅したいというニーズがある。時間帯に応じて利用者層や公共交通へのニーズも変わることから、移動時間帯に応じた利便性の確保が求められる。  ○外来者や観光客に対応したバスサービスの向上  公共交通で訪れた県外観光客、外国人観光客あるいは仕事等による来訪者の移動手段として、路線バスの利用促進を図っていく必要がある。そのためには、観光客等の動向に対応した路線・ダイヤの確保、わかりやすい情報提供等により使いやすいバスサービスが望まれる。  ○移動不便地域・公共交通空白地域への対応  バスの乗り継ぎがスムーズにいかず移動の際に長い待合時間が発生する移動不便地域や、バスが利用しにくい公共交通空白地域に対し、接続の改善、タクシー等を積極的に活用したデマンド型乗合タクシーやタクシー助成の充実等、状況に応じた移動支援を行う必要がある。  ○待合環境・乗車環境の充実  未整備のバス停の整備推進に加え、乗降がしやすいように車両の低床化をさらに進めていくことやＵＤ（ユニバーサルデザイン）タクシーの活用を行っていく必要がある。 | ＜移動利便性の向上＞  事業１－１  通勤・通学利便性の向上 | ○通勤・通学時間帯のダイヤルートの改善  【検討主体：県・市町・交通事業者】  ※R４年４月路線再編予定  ⇒短期大学～倉吉駅～西倉吉間について、夕夜間の時間帯に限定した路線の試験的な運行を実施予定。 |